

科目名	保育実践		学年	類型・コース	単位数
			3年	総合選択 F2・家庭(福祉と保育)	2単位
学習の目標	保育基礎の学習を踏まえ、保育の重要性を深く理解し、子どもの発達を促す技術を身に付けるとともに、健やかな発達を促すための保育について考えることができる。				
教科書 副教材	主たる教材：保育実践（文部科学省） 副教材：なし				
評価	評価法	定期考査、小テスト、課題（スピーチ発表、プレゼンテーション）、ファイル、実技課題、実技テスト等			
	評価観点の趣旨	a	知識・技術	子どもの表現活動や子育て支援について理解するとともに、関連する技術を身につけている。	
		b	思考・判断・表現	保育や子育て支援に関する課題を発見し、子どもを取り巻く環境の変化に対応した保育について理解している。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	保育や子育て支援の実践に主体的に取り組み、協働的な態度を身につけ実践しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時 数	学習項目・ 単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学 期	4 月	6	子どもの 表現活動	子どもの遊びの意義と種類について	ワーク シート 定期考査	レポ ート	ワ ー ク シ ー ト 授 業 態 度
	5 月	8	造形表現 活動	造形表現活動の実習			
	6 月	8	言語表現 活動	言語表現活動の実習			
	7 月	4	児童文化財	子どもの発達段階とおもちゃの関係			
	夏休み						
2 学 期	9 月	8	児童文化財	表現活動の実習 おもちゃの製作	ワーク シート 定期考査	レポ ート	ワ ー ク シ ー ト 授 業 態 度
	10 月	8	児童文化財	表現活動の実習 おもちゃの製作			
	11 月	8	児童文化財	児童文学の種類と歴史			
	12 月	4	保育におけ る課題	現代の子どもの生活と子ども文化			
	冬休み						
3 学 期	1 月	6	保育におけ る課題	子ども文化を支える場とその役割	ワーク シート 定期考査	レポ ート	ワ ー ク シ ー ト 授 業 態 度
	2 月						
	3 月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）
実技や実習、製作の時間が多くあります。毎時間を大切に、より良い成果が出るように活動しましょう。作品制作や表現活動において、向上心を持って取り組みましょう。